

平成 27 年度教職大学院派遣研修報告書

| | | | |
|---------------|-------------------------------|-----|------------|
| 派遣者番号 | 27K25 | 氏名 | 山田 まゆみ |
| 研究主題 —副主題— | 小学校音楽科における人権教育のねらいを明確にした授業づくり | | |
| 所属校 | 江戸川区立大杉東小学校 | 派遣先 | 早稲田大学教職大学院 |

| 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|---|--|---|------|---------|-------|--|--|--|--|-----------|--|---|--|-----------|---|---|--|
| I 研究の目的 | <p>東京都が平成 16 年に行った研究(「人権尊重の精神をより一層高めるための指導の改善」.)の中で人権教育は一部の教科では実施しづらいと考えられていることが明らかになっており、とりわけ音楽科で人権尊重の精神を育てることができると考えている教師は 8.5%と際立って低い。また、人権尊重の精神を育てるために大切だと考えることとして、自他の理解と尊重を挙げる教員が多く、今日の学校現場で、文科省が人権尊重の理念として挙げている「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」の不十分さを多くの教員が感じていることがうかがえる。一方、本研究に協力を得られる実習校では、キャリア教育の視点を教科教育に生かす取組を行っているが、それらの取組は人権尊重の精神を育てるための取組と重なる部分も多い。</p> <p>そこで本研究では、実習校がこれまで培ってきた「キャリア教育の視点を取り入れた教科教育の在り方」の知見を取り入れながら、「人権教育のねらいを明確にした教科教育」の視点でプログラムを開発し、それを実践することとする。</p> <p>目的：人権教育のねらいを明確にした音楽の授業プログラムを開発し実践する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| II 研究の方法 | <p>対象…公立小学校第 4 学年 4 学級 (122 名) 時期…平成 27 年 10 月～11 月</p> <p>①中心教材には、歌唱曲「ゆうき (中川李枝子 作詞 / 村松 崇継 作曲)」を選定し、6 時間の授業実践を行う。</p> <p>②プログラムの効果を測定するために、前後でアンケート調査を行う。</p> <p>③児童の学習への取組を毎時間の学習カードへの記述から把握する。</p> <p>本研究では人権教育のねらい (以下「ねらい」と記す) として「東京都の研究」で示された分類のうち、「1 自他の理解と尊重」の③個人の尊重 ④自己理解 ⑤相互理解、「2 社会の一員としての自覚と責任」の②社会参加 ③権利と義務 に重点をおいて設定し、以下の方法と内容で取り組んだ。</p> <p>ねらい：歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時</th> <th>学習活動</th> <th>教科の評価規準</th> <th>「ねらい」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>関…関心・意欲・態度 創…音楽表現の創意工夫 技…音楽表現の技能</td> <td>1 自他の理解と尊重…③個人の尊重 ④自己理解 ⑤相互理解 2 社会の一員としての自覚と責任…②社会参加 ③権利と義務</td> </tr> <tr> <td>第一次 (三時間)</td> <td>・歌詞を読み、心に残ったことや感じたことを話し合う。 ・旋律に親しみ歌えるようになる。 ・友達と意見交換したり旋律と合わせて歌詞を味わったりする中で、歌に込める気持ちに対する考えを深める。</td> <td>・歌詞の意味や旋律の特徴に関心を持ち、歌い方を考えようとする。(関) ・歌い方について自らの考えを持ち、それを表現するための工夫をして歌う。(創) ・発音や発声に注意して歌う。(技)</td> <td>・自分を含め、誰もが大切な存在として生まれてきたことを歌詞を通して感じ取る。(1-③④) ・自分とは異なる友達の気付きや感じ方を知り、認める。(1-③⑤)</td> </tr> <tr> <td>第二次 (三時間)</td> <td>・グループに分かれ、担当の箇所の歌い方について意見を出し合いながら決める。 ・グループでの考えを学級全体に伝える。 ・各グループが考えた歌い方に従って全員で歌い、学級の歌として仕上げる。</td> <td>・表現の意図を理解し、思いをもって歌う。(創) ・友達の声を聴きながら、声をそろえて歌う。(技)</td> <td>・話し合いの中で自らの意見を述べる。(2-②③) ・グループの中での係の役割を果たす。(2-②③) ・話し合い活動や他のグループの考えを聞くことをとおして友達のよさに気付く。(1-⑤)</td> </tr> </tbody> </table> | | | 時 | 学習活動 | 教科の評価規準 | 「ねらい」 | | | 関…関心・意欲・態度 創…音楽表現の創意工夫 技…音楽表現の技能 | 1 自他の理解と尊重…③個人の尊重 ④自己理解 ⑤相互理解 2 社会の一員としての自覚と責任…②社会参加 ③権利と義務 | 第一次 (三時間) | ・歌詞を読み、心に残ったことや感じたことを話し合う。 ・旋律に親しみ歌えるようになる。 ・友達と意見交換したり旋律と合わせて歌詞を味わったりする中で、歌に込める気持ちに対する考えを深める。 | ・歌詞の意味や旋律の特徴に関心を持ち、歌い方を考えようとする。(関) ・歌い方について自らの考えを持ち、それを表現するための工夫をして歌う。(創) ・発音や発声に注意して歌う。(技) | ・自分を含め、誰もが大切な存在として生まれてきたことを歌詞を通して感じ取る。(1-③④) ・自分とは異なる友達の気付きや感じ方を知り、認める。(1-③⑤) | 第二次 (三時間) | ・グループに分かれ、担当の箇所の歌い方について意見を出し合いながら決める。 ・グループでの考えを学級全体に伝える。 ・各グループが考えた歌い方に従って全員で歌い、学級の歌として仕上げる。 | ・表現の意図を理解し、思いをもって歌う。(創) ・友達の声を聴きながら、声をそろえて歌う。(技) | ・話し合いの中で自らの意見を述べる。(2-②③) ・グループの中での係の役割を果たす。(2-②③) ・話し合い活動や他のグループの考えを聞くことをとおして友達のよさに気付く。(1-⑤) |
| 時 | 学習活動 | 教科の評価規準 | 「ねらい」 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 関…関心・意欲・態度 創…音楽表現の創意工夫 技…音楽表現の技能 | 1 自他の理解と尊重…③個人の尊重 ④自己理解 ⑤相互理解 2 社会の一員としての自覚と責任…②社会参加 ③権利と義務 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第一次 (三時間) | ・歌詞を読み、心に残ったことや感じたことを話し合う。 ・旋律に親しみ歌えるようになる。 ・友達と意見交換したり旋律と合わせて歌詞を味わったりする中で、歌に込める気持ちに対する考えを深める。 | ・歌詞の意味や旋律の特徴に関心を持ち、歌い方を考えようとする。(関) ・歌い方について自らの考えを持ち、それを表現するための工夫をして歌う。(創) ・発音や発声に注意して歌う。(技) | ・自分を含め、誰もが大切な存在として生まれてきたことを歌詞を通して感じ取る。(1-③④) ・自分とは異なる友達の気付きや感じ方を知り、認める。(1-③⑤) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第二次 (三時間) | ・グループに分かれ、担当の箇所の歌い方について意見を出し合いながら決める。 ・グループでの考えを学級全体に伝える。 ・各グループが考えた歌い方に従って全員で歌い、学級の歌として仕上げる。 | ・表現の意図を理解し、思いをもって歌う。(創) ・友達の声を聴きながら、声をそろえて歌う。(技) | ・話し合いの中で自らの意見を述べる。(2-②③) ・グループの中での係の役割を果たす。(2-②③) ・話し合い活動や他のグループの考えを聞くことをとおして友達のよさに気付く。(1-⑤) | | | | | | | | | | | | | | | | |

III 研究の結果

1 アンケート結果 (4件法)

これら全ての項目で平均点に上昇が見られ、t検定において有意差が確認された。

| | | 事前 | 事後 | t |
|---|-------------------|------------|------------|-----|
| 1 | 自分の力を出せる | 2.78(0.89) | 3.28(0.83) | *** |
| 2 | 友達のために何かできる | 2.48(0.83) | 2.88(0.82) | *** |
| 3 | 自分に自信がもてる | 2.64(0.94) | 3.00(0.87) | *** |
| 4 | 自分もうまくやれる | 2.60(0.85) | 2.88(0.91) | *** |
| 5 | 友達と一緒にいられてうれしいと思う | 3.11(0.72) | 3.28(0.82) | ** |
| 6 | 自分をわかってくれる友達がいる | 2.95(0.91) | 3.13(0.94) | * |

*** p < .001 ** p < .01 * p < .05

2 各時間後の「自分へのメッセージ」「友達へのメッセージ」の記述

自己への肯定や自らのめあてや役割の意識、他者への肯定的な評価に関する記述が各時間で見られた。

- ・もみじのリレーで2回目に大きい声を出せた。もっと大きく口を開けられるようにしたい。
- ・きれいな声で歌えたね。すごくいいと思うよ。
- ・次はよりくわしく感情を書くようにがんばる。
- ・すごく集中して大きな声で口を大きくあけてうたえたからうれしかったです。
- ・自分の意見を2回も言えた。しかも採用された
- ・自分の意見をちゃんと言えた。
- ・とても一生懸命歌ったし、自分の評価では10点中10点です。

3 プログラム終了後の記述

(1) 自分へのメッセージ・友達へのメッセージを書いてみて

- ・「今まで気づかなかった友達の姿をよく見ると分かってとても楽しかったです」等、
友達の姿をよく見られた…17人
- ・「友達からがほめてくれるメッセージがうれしかった」等、
友達からの肯定的評価が嬉しかった…14人
- ・「もっとがんばろうという気持ちがわいてきました」等、
次への意欲につながった…6人
- ・「相手から見た自分が分かってうれしかった」等
友達からの評価によって自分のことが分かった…8人
- ・その他…「楽しかった」「続けたい」「よかった」等

(2) 曲について

- ・「歌っているにつれて自分のことだと思えるようになりました」等
自分のことと感じた…20人
- ・「しっかり歌えて感動した」等
歌えてよかった…15人
- ・その他…「すてきな曲」「いい曲」「やさしい曲」等

IV 考察

- ・総合考察…アンケート結果や児童の記述からは1「自他の理解と尊重」2「社会の一員としての自覚と責任」を育む場となったと考える。「歌詞の理解」の活動を通して自分や友達、一人一人の大切さに改めて気付かせたいと考えたが、曲に対して肯定的に捉えてはいるものの、この活動を「自他の尊重」に結び付けるまでは至らなかった児童が大半であったと考える。
- ・成果…人権教育のねらいを明確にした教育活動を繰り返し行うことで音楽科のねらいがより達成され、音楽の教科中での人権教育の可能性を見出すことができた。
- ・課題…人権教育に関してより今日的な課題(外国人差別等)に対して、教科の中でどのような取組ができるかを探り、実践を重ねることが今後の課題である。

